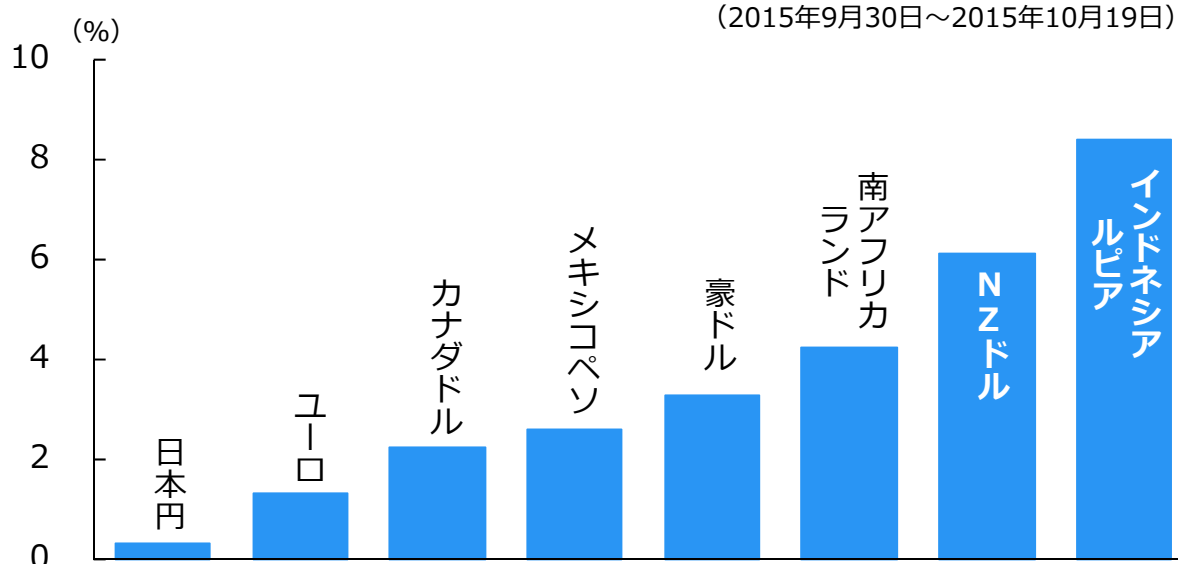


軟調な推移の続く米ドル

- 📌 米国の年内利上げ観測が後退し、米ドル安が続いている。
- 📌 10月27日、28日にFOMCが開催予定。政策の変更や声明文の内容に変化があるのか注目が集まる。

< 対米ドルでの為替騰落率 >



- 10月の為替市場では米ドル安が続いている。米国での年内利上げ観測が後退したことでリスクオンの動きが広がり、資源国通貨が大きく上昇している。
- 10月2日に発表された9月の米雇用統計は市場予想を下回る結果となったほか、雇用者数の増加ペースは鈍化傾向が顕著で、年内の利上げ観測が後退した。雇用統計以外の経済指標も力強さに欠けるものが多く、利上げ観測の再浮上しづらい状況が続いている。

< 注目の集まるFOMC >

- 10月27日、28日にFOMCの開催が予定されている。これ以外に年内に予定されているFOMCは12月15日、16日。今月利上げが行われるのか、声明文の内容が利上げに向けて変更されるのか、注目が集まる。
- FRB関係者の間でも政策変更に関する意見は割れている状態だが、力強さに欠ける米国の経済指標や中国経済の不透明感などを背景に、今月は利上げは行われないという見方が多い。

出所：各種資料より大和住銀投信投資顧問作成

お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗（支店担当者）経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大 1.24200%（但し、最低 2,700 円）の委託手数料（税込）が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の 30%以上で、かつ 30 万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価（購入対価・売却対価）のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および信託報酬等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等 : 大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第108号

加入協会 : 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会